

[記入例]

□ の中はすべて記入してください。

別記様式第一		(整理番号 令和 年 号)
被害回復給付金支給申請書		
名古屋地方検察庁 檢察官 殿 令和 年 月 日		
申 請 人 氏 名 又 は 名 称 検 察 太 郎 生 年 月 日 所 (〒〇〇〇-〇〇〇〇) 昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 (〇〇 歳) 住 所 名古屋市中区三の丸〇丁目〇番〇号 △マンション〇号室 (電話番号又はFAX) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇		
代 表 者 又 は 管 理 人 氏 名 生 年 月 日 所 (〒 -) 年 月 日 (歳) (電話番号又はFAX) 二 二		
代 理 人 法定代理人 氏 名 又 は 名 称 生 年 月 日 所 (所在地) (〒 -) 年 月 日 (歳) (電話番号又はFAX) 二 二		
次のとおり被害回復給付金の支給を申請します。		
被 害 者	被害にあった者は <input type="checkbox"/> 申請人 (被害者欄の下記事項についての記入は不要です。) <input checked="" type="checkbox"/> その他の者 (被害者欄の下記事項につき記入してください。)	
	氏 名 又 は 名 称 検 察 太 郎 生 年 月 日 昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 (〇〇 歳) 住 所 (〒〇〇〇-〇〇〇〇) 名古屋市中区三の丸〇丁目〇番〇号 △マンション〇号室	
一般承継人の理由 及びその年月日	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 被害者の死亡伴う相続 により承継した。	
被害者との関係	長男	
支 給 手 続 番 号	名古屋地方検察庁 令和 年 号	
被 害 に あ わ れ た 年 月 日 時	別紙のとおり	
被 害 に あ わ れ た 場 所	別紙のとおり	
犯 人 の 名 前 又 は 団 体 名	別紙のとおり	

申請書作成日を記入

○申請人記入欄

被害にあった本人・法人・団体又はその一般承継人が記入(自署)・押印してください。※「一般承継人」とは、被害者本人から、その財産などを相続された方などのことを言います。

○代理人記入欄

被害者が未成年の場合などに、その親=法定代理人が手続を代理することもできます。
また、代理人を弁護士に委任することもできます(弁護士費用はご負担ください)。

※「被害者本人」の場合
「申請人」に✓
※「一般承継人」の場合
「その他の者」に✓
※「代理人」の場合
「申請人」に✓

申請者が一般承継人の場合は、被害者の方の氏名を記入してください。

一般承継人の方のみ記入してください。

○被害状況記入欄

被害にあわれた状況等を詳細に記入していただく必要があるため、同封の別紙1・2に記入し、申請書とともに提出してください。

裏面へ続きます

申請期限 令和8年★月★日(★)

被害にあわれた状況		別紙のとおり		
支給を受けようとする金額	犯罪行為により失われた財産の価額	<input type="text" value="3,500,000 円"/> (価額算定の根拠) 別紙のとおり		
	控除対象合計額	<input type="text" value="105,422 円"/>		
	(内訳)			
	てん補又は賠償を受けた年月日	てん補又は賠償をした者の氏名又は名称(犯人との関係)	てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称(被害者等との関係)	てん補又は賠償額
	R4 年 5 月 △ 日	○○銀行 (なし)	検察 太郎 (本人)	45,422 円
	R4 年 7 月 ○ 日	○○ ○○ (○○の弁護人)	検察 太郎 (本人)	60,000 円
支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についての合意の有無及びその内容	<input type="checkbox"/> 合意はない	<input checked="" type="checkbox"/> 以下の合意がある		
	施行規則第8条第1項第8号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等	フリガナ 氏名又は名称 住 所 (〒 -) 電話番号又はファクシミリの番号 - - - - -		
	合意の内容			
払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるため必要な事項	預 口座名義人	フリガナ ケンサツイチロウ 氏名 (法人の名称)	検察一郎	
	貯 金 口 座	住(居)所等	名古屋市中区三の丸○一〇一〇 △△マンション○号室	
	金融機関		○○○ 銀行 信託 組合 用 協 会 金庫 組合 △△△ 本店(所) 支店(所) 出張所	
	郵便局	預金種別	① 普通預金 2. 当座預金	口座番号 1 2 3 4 5 6 7
	その他の必要な事項	通帳記号	通帳番号	

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

- 申請書は、記入例をよくお読みの上、ご記入願います。
- この記入例のほか、同封した「被害回復給付金申請書(別記様式第一)の記載要領」(出典: 検察庁HP)も参考にしてください。
- 添付書類については、同封の「添付書類確認シート」でご確認願います。

○犯罪行為により失われた財産の価額記入欄

「別紙」で算出した「振込-払戻」の金額を記入してください。

○てん補又は賠償関係記入欄

犯人側から被害弁償を受けた方、いわゆる「預金者保護法」により金融機関から返金を受けた方、その他第三者からてん補を受けた方は、その合計額を記入して下さい。「全てなし」の場合は、「○」と記入してください。

※「てん補又は賠償」とは、犯人側または第三者から被害者側に対し、損害補てん・示談・賠償金などの名目で支払われた金銭のことです。

○給付金額の割合に関する合意の有無

ほかの被害者(申請人)との間で、給付金の支給を受けることとなった場合の支給割合について、何も合意をしていない場合は「合意はない」に✓してください。その場合、次欄は記入不要です。何らかの合意がある場合のみ「以下の合意がある」に✓し、その内容を次欄に記入してください。

○被害回復給付金の振込先口座記入欄

この口座は、申請人本人名義のものに限ります。口座の通帳又はキャッシュカードの写しが必要です。

口座が開設できないなど、やむを得ない事情がある場合に記入します。